

令和6年度 静岡県

クリーニング師試験問題

(指示があるまで開いてはいけません。)

解答上の注意

- 1 試験問題の数は30問で、解答時間は80分です。
- 2 解答は、「解答用紙」に記入してください。
- 3 それぞれの問題には、3つの答えが書いてあるので、その中から適切なものを1つ選び、該当する□の中に○印を記入してください。

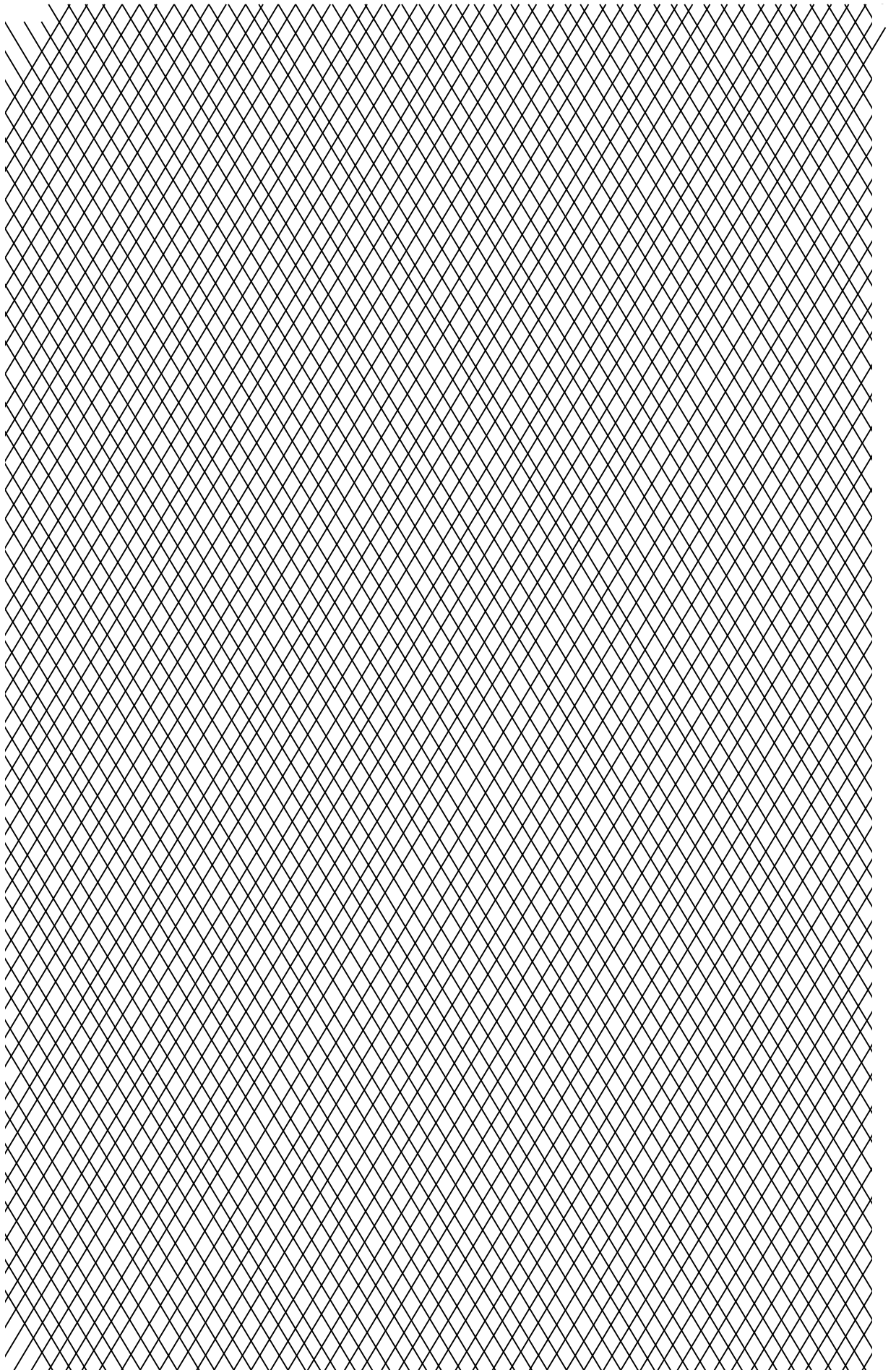
(例) **【問題】 静岡県の県庁所在地として、正しいものはどれか。**

- 1 沼津市
- 2 静岡市
- 3 浜松市

正解は静岡市なので、解答用紙には次のように記入してください。

1	2	3
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 4 1つの問題に対して2つ以上解答した場合は、不正解です。誤って記入した場合は、消しゴムで完全に消してから記入してください。
- 5 問題は持ち帰って構いません。
- 6 その他試験については、試験係員の指示に従ってください。



衛生法規に関する知識

〔問題 1〕 次のクリーニング業法第1条についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行うものである。
- ② 経営を営業者の利益に適合させることを目的とする。
- 3 利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。

〔問題 2〕 次のクリーニング業法第2条の定義についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 寝具や呉服などを解体して洗濯した場合にもクリーニング業に含まれる。
- 2 皮革製品の洗濯はクリーニング業に含まれる。
- 3 繊維製品を貸与・回収・洗濯を繰り返すいわゆるリネンサプライ営業はクリーニング業に含まれる。

〔問題 3〕 次のクリーニング業法における営業者の衛生措置等についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 全てのクリーニング所には必ず洗たく機及び脱水機が1台以上必要である。
- 2 洗濯物をその用途に応じ区分することはクリーニング所以外で行っても良いが、洗濯作業はクリーニング所で行わなければならない。
- ③ 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがある洗濯物であっても、洗濯自体が消毒の効果を有する方法によってされる場合においては、洗濯前の消毒は不要である。

〔問題 4〕 次のクリーニング業法における地位の承継についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 相続による営業者の地位の承継の届出には、住民票又は不動産登記規則(平成十七年法務省令第十八号)第二百四十七条第五項の規定により交付を受けた同条第一項に規定する法定相続情報一覧図の写しを添付しなければならない。
- ② クリーニング所開設の届出をした営業者が当該営業を譲渡したときは、当該営業を譲り受けた者は、当該届出をした営業者の地位を承継する。
- 3 営業者の地位を継承した者は、遅滞なく、その事実を証する書面を添えて、その旨を厚生労働大臣に届け出なければならない。

〔問題 5〕 次のクリーニング業法における手続についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① クリーニング所を開設しないで洗濯物の受渡しのみする場合にはその旨を都道府県知事等に届け出なくて良い。
- 2 クリーニング所を開設しようとする者は、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事等に届け出なければならない。
- 3 クリーニング所の営業を廃止した場合には速やかに都道府県知事等に届け出なければいけない。

〔問題 6〕 次のクリーニング師の設置についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所にはクリーニング師を置かなくても良い。
- ② クリーニング師である従事者の数が常時2人以上であるクリーニング所の開設者は、管理クリーニング師を置かなければならない。
- 3 クリーニング師が自己の経営するクリーニング所において自らがクリーニングの業務に従事しているときには、別にクリーニング師を雇い入れる必要はない。

【問題 7】 次のクリーニング業法におけるクリーニング師の免許についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① クリーニング師の試験に合格した者が免許を受けようとする場合、その者が合格した都道府県に関わらず、本籍地の都道府県知事にその旨の申請しなければならない。
- 2 免許証を返納することによって登録の抹消を申請し、クリーニング師の身分を失った後であっても、再度申請を行うことでクリーニング師の身分を取得することが可能である。
- 3 本籍又は氏名を変更したときは、10日以内にクリーニング師免許証の訂正を申請しなければならない。

【問題 8】 次のクリーニング業法におけるクリーニング師の研修及び業務従事者の講習についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 クリーニング師は免許を受けたときから3年を超えない期間ごとに研修を受ける義務がある。
- ② 営業者はクリーニング所を開設（営業の開始）したその日から1年以内に従事者の中からその5分の1の者を選び講習を受けさせなければならない。
- 3 営業者は業務多忙等の特別な事情がある場合に限り、そのクリーニング所に従事するクリーニング師に研修を受講する機会を付与しないことが認められている。

【問題 9】 次の苦情の申出先についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 車両のみを用いて取次店として営業する場合には苦情の申出先を車両の見やすい箇所に掲示しなければならない。
- ② クリーニング所は、クリーニング所の名称、所在地及び電話番号を店頭に掲示しなければならない。
- 3 領収書や預り証とは別に苦情の申出先を記載した書面を利用者に渡さなければならない。

[問題 10] 次のクリーニング業法における業務停止処分等についての記述のうち、()にあてはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の(ア)の業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認めるときは、期間を(イ)その業務を停止することができる。

- | | (ア) | (イ) |
|---|-------------|--------|
| 1 | 受取及び引渡し | —— 定めて |
| 2 | 処理又は受取及び引渡し | —— 定めず |
| ③ | 処理又は受取及び引渡し | —— 定めて |

公衆衛生に関する知識

[問題 11] 次の健康の定義についての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

(ア) 憲章では、「健康とは、肉体的、(イ) 及び社会的に完全によい状態にあることであり、単に(ウ) 又は虚弱でないということではない。」と定義づけている。

- | | (ア) | | (イ) | | (ウ) |
|---|-----|---|-----|---|------|
| 1 | ILO | — | 体力的 | — | 健康 |
| 2 | FAO | — | 衛生的 | — | 体力低下 |
| ③ | WHO | — | 精神的 | — | 疾病 |

[問題 12] 次の感染症と伝染病についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 感染症とは、ウイルス、寄生虫、細菌などの病原体が体内に侵入して、発熱、下痢、咳等の症状が出ることをいう。
- 2 伝染病とは、感染症を発症した人(動物)が、保有するウイルスを他者に移し、他者が病気を発症することをいう。
- ③ 感染症法とは、従来の「伝染病予防法」、「性病予防法」、「人畜共通感染症法」などが統合された法律となる。

[問題 13] 次のクリーニング店における感染症対策についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 従業員の健康状態には常に気をつけ、特に感染症の流行時期に罹患の疑いがある従業員がいたら強制的に業務を継続させない。
- 2 洗濯前の委託物に触れる際の、マスク、ゴーグル及びエプロンの着用を徹底していれば、手洗いと手指の消毒は不要となる。
- ③ 洗濯物に存在する微生物汚染については、時間経過とともに増殖する可能性があるため、取扱いに留意する必要がある。

[問題 14] 次のノロウイルスに係る吐ぶつやふん便がリネン類に付着した場合の処理についての記述のうち、誤ったものはどれか。

- ① リネン類の処理は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないように注意しながらアルコールで消毒する。
- 2 リネン類の処理は、下洗い後に 80℃10 分間以上の熱水洗濯が適している。
- 3 布団など、すぐに洗濯できない場合の処理は、スチームアイロンで熱殺菌し、その後布団乾燥機を使うと効果的である。

[問題 15] 次のクリーニング所の施設の立地、構造や設備についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① クリーニング所の洗濯業の用に供する洗浄設備は、水質汚濁防止法の特定施設に該当し、公共用水域へ水を排出する場合は届出が必要となる。
- 2 建築基準法では、住居系地域、商業系地域において引火性溶剤を用いるドライクリーニング工場の建築は認められている。
- 3 建築基準法では、工業系用途地域、商業系用途地域における引火性溶剤以外の溶剤を用いるドライクリーニング工場の建築が一律に禁止されている。

[問題 16] 次のクリーニング業にかかわる感染症についての記述のうち、誤ったものはどれか。

- 1 病院リネンを介した感染症として、セレウス菌による血流感染症の集団感染事例がある。
- ② セレウス菌が形成する芽胞は、アルコールには抵抗性があるが熱には弱いため、容易に死滅させることができる。
- 3 セレウス菌は、環境中に広く存在し、極端に抵抗力の弱い患者では、極めてまれに菌血症の原因になるため消毒が必要である。

〔問題 17〕 次の廃棄物管理についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 産業廃棄物の処理を収集運搬業者又は処分業者に委託する場合、マニフェストの交付が義務づけられている。
- 2 廃棄物排出業者は、処理業者から処理終了のマニフェストを受け取れば、適正に処理されたかを確認する義務はない。
- 3 特別管理産業廃棄物の処理を委託する場合、廃棄物の発生量にかかわらず、電子マニフェストを使用しなければならない。

〔問題 18〕 次のドライクリーニングにおけるVOC（揮発性有機物質）を削減する手段についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 こまめに溶剤容器の蓋や栓をするなどの溶剤容器の管理を徹底することが有効である。
- ② 脱臭装置を溶剤容器の排出口に設置しても、溶剤からの蒸発に由来するVOCの排出を減らす効果はない。
- 3 ウェットクリーニングやランドリーへの比率を高める等、溶剤を使わないクリーニングの励行も重要となる。

〔問題 19〕 次の労働安全衛生法についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ドライクリーニングで使用する石油系溶剤は、特別有機溶剤として規制されている。
- 2 石油系溶剤を使用したドライクリーニングの業務を行う場合に遵守すべき事項として、発がん性を踏まえた措置として作業記録を作成し30年間保存しなければならない。
- ③ 労働安全衛生法は、労働災害防止のための「危害防止基準の確立」、「責任体制の明確化」、「自主的活動の促進」などの措置により働く人が安全で健康に働ける仕組みが定められた法律である。

【問題 20】 次のクリーニング業のSDGs 取組みについての記述のうち、誤ったものはどれか。

- ① 持続可能な再生消費形態を確保するため、洗濯物の引渡しの都度エコバックを配布している。
- 2 衣類用カバーに使われているポリ包装の薄肉化、軽量化を進め、プラスチックの使用量を削減している。
- 3 衣類用ハンガーの原料に再生プラスチックを利用している。

洗濯物の処理に関する知識

〔問題 21〕 次の汚れ及びシミについての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 汚れは、その溶解性から4種類に大別でき、汗や尿による汚れは水溶性汚れに分類される。
- 2 シミの見分け方として、油性のシミは、一般に生地が透けて見え、手ざわりが柔らかく、シミの周囲の輪郭ははっきりしていないものが多い。
- ③ シミ抜きは、まず油性処理を行い、次に不溶性処理、水溶性処理の順に行う。

〔問題 22〕 次の繊維加工についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① オパール加工とは、耐薬品性の2種類の繊維からなる布地に一方の繊維を溶解する薬剤を捺染（なせん）することにより、布地の薄い透かし模様をつくる加工である。
- 2 ピーチ加工とは、織物を凹凸のついた過熱ローラーと、紙や綿のローラーの間に通して、凹凸のある模様を付ける加工である。
- 3 エンボス加工とは、合成繊維を用いた織編物の表面を軽く起毛し、ソフトでサラッとした感触とする加工である。

〔問題 23〕 次のランドリー用水についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 ランドリー用水の条件に、無色透明、無味無臭、液性が中性（pHが5.8から8.6）であることが含まれている。
- 2 ランドリー用水に鉄分やマンガンが水溶性塩の形で溶けていると、いくらすすいでも生地に残留し黄褐色の原因となる。
- ③ 水中の硬度成分は、主としてカルシウムやマグネシウムの水溶性塩であり、これら成分は洗剤の力を向上させる。

〔問題 24〕 次のテトラクロロエチレンについての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 ヒトに発がんのおそれがある物質である。
- ② 労働安全衛生法で、パークの名称が使用されている。
- 3 油脂溶解力が大きく、揮発しやすいので、短時間で洗浄、乾燥ができる。

〔問題 25〕 次の和服のクリーニングについての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

和服の丸洗いは、汚れの部分をブラッシングしたのち、(ア) で、着物全体を浸漬して洗う方法である。洗いは、できる限り(イ) 時間を基本とし、乾燥は、ハンガーに掛け立体乾燥で(ウ) で行う。

- | | (ア) | (イ) | (ウ) |
|---------|-------|-------------|-------|
| ① 石油系溶剤 | —— 短 | —— 40℃以下の低温 | |
| 2 界面活性剤 | —— 長 | —— 60℃以上の高温 | |
| 3 石油系溶剤 | —— 短 | —— 60℃以上の高温 | |

〔問題 26〕 次の日本産業規格 (JIS L 0001 : 2014) 「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法」についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 記号は、洗濯、漂白、乾燥、アイロン仕上げ、商業クリーニングの順に並べることになっている。
- ② JIS L 0001 : 2014 は、消費者が家庭で洗濯などをする場合の方法を指示することのみを目的としている。
- 3 「ラベルは、消費者が簡単に分かる箇所に見やすく、縫い目などに隠れず、かつ、しっかりと容易に取れない方法で繊維製品に取り付けなければならない」と規定されている。

〔問題 27〕 次のボタンについての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① カゼインボタン（ラクトボタン）は、牛乳のたんぱく質を原料に作るレンネットカゼインを原料にしたボタンであり、ドライクリーニングや水洗いが可能である。
- 2 アクリルボタンは、ポリアミド系樹脂を原料にしたプラスチックボタンで、メッキ加工しやすく樹脂メッキボタンの大半を占めており、金属ボタンのような雰囲気を表現できる。
- 3 ユリアボタンは、接着剤としても使用されているエポキシ樹脂を原料としており、塩素系漂白剤の使用が可能である。

〔問題 28〕 次の注意が必要な素材についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 人工毛皮は、織物、編物の表面に長いパイルを持ったもので、熱による収縮、変形を起こしにくいので高温乾燥に適する。
- ② ストレッチ素材とは、伸縮性に優れ、伸ばされた状態で力を解放すると元の状態に戻る伸縮回復性を持つ素材をいい、タンブラー乾燥時に高温で回転させたり、蒸気アイロンを高温で、かつ加圧を強くすると変形しやすい。
- 3 人工皮革は、ポリウレタン系樹脂やアクリル系樹脂をニットや布帛（ふはく）生地にコーティングしたもので、家庭用品品質表示法では「特殊不織布以外のものを用いたもの」と定義されている。

〔問題 29〕 次のウェットクリーニングについての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 仕上げは、ブラウスなどの軽量衣類は、一般的なアイロン仕上げで対応する。
- ② 純粋な水溶性汚れはほぼ除去可能であり、油性汚れはドライクリーニングと比較して約 80%程度除去できる。
- 3 ウェットクリーニングの対象品の例として、毛素材で飲食物汚れのある子供用外衣がある。

[問題 30] 次の洗濯物の処理に用いるクリーニング溶剤の危険性についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 有機溶剤などは、その取扱い上、中毒、職業病に結び付く有害性や危険性について考慮する必要はない。
- 2 石油系ドライ機を使用する際、引火点が 40℃未満の石油系溶剤を使用する。
- ③ 洗濯物に石油系溶剤が残留した場合、化学やけど（皮膚障害）が発生する。

